

表4 老人観・知識の単純集計

項目	正答	誤答	わからない
(1)ほとんどのお年寄りは、記憶力が落ちたり、ぼけたりする	26 28.3%	60 65.2%	6 6.5%
(2)お年寄りになると、耳や目などのいわゆる五官がすべて衰えがちである	62 67.4%	21 22.8%	9 9.8%
(3)ほとんどのお年寄りは、性に対する興味や能力をもっていない	66 71.7%	3 3.3%	23 25.0%
(4)ほとんどのお年寄りは、多くの時間をみじめな気持ちで過ごしている	49 53.3%	5 5.4%	38 41.3%
(5)体力は、年をとるにつれて、衰えていく	89 96.7%	1 1.1%	2 2.2%
(6)少なくとも1割のお年寄りは養護老人ホームか、特別養護老人ホームなどに入所している	28 30.4%	24 26.1%	40 43.5%
(7)ほとんどのお年寄りは、健康で普通の生活を送るのに差しつかえない	13 14.1%	59 64.1%	20 21.7%
(8)ほとんどのお年寄りは、自分の型にはまってしまっかなかそれをかえることができない	17 18.5%	61 66.3%	14 15.2%
(9)ほとんどのお年寄りは、若い人よりも反応時間が長くなる	74 80.4%	3 3.3%	15 16.3%
(10)一般に、お年寄りというのは、皆似たようなものだ	71 77.2%	8 8.7%	13 14.1%
(11)ほとんどのお年寄りは、めったにつまらないと思うことがない	3 3.3%	59 64.1%	30 32.6%
(12)お年寄りは、若い人よりも交通事故にあうことが少ない	80 87.0%	3 3.3%	9 9.8%
(13)わが国の人口の15%以上が、65歳以上である	49 53.3%	11 12.0%	32 34.8%
(14)一人暮らしのお年寄りの半分以上は、生活保護を受けている	46 50.0%	6 6.5%	40 44.9%
(15)ほとんどのお年寄りは、めったに怒ったり、いらいらしたりすることがない	2 2.2%	73 79.3%	17 18.5%
(16)65歳以上の多くは、日常生活に支障をきたすほどの重度精神障害をもっている	70 76.1%	8 8.7%	14 15.2%
(17)記憶喪失、見当識障害、混乱などの知覚障害は、老年期になると避けられない	49 53.3%	33 35.9%	10 10.9%
(18)高齢の精神病患者が間違っった作り話をした場合、嘘を指摘するのはこうしたことをやめさせる最善の方法である	84 91.3%	1 1.1%	7 7.6%
(19)神経症や精神分裂病は、老年期に多くなる	55 59.8%	9 9.8%	28 30.4%
(20)お年寄りの精神疾患は、その他の年齢層に見られるすべての精神障害の総和より少ない	17 18.5%	29 31.5%	46 50.0%
(21)アルツハイマー病(進行性老年期痴呆症)は、お年寄りに見られる最も一般的な慢性知覚障害である	29 31.5%	42 45.7%	21 22.8%
(22)ほとんどのアルツハイマー病患者には、同じような行動がみられる	50 54.3%	21 22.8%	21 22.8%
(23)高齢の精神病患者と話をするときには、面と向かって話しかけないのが最善である	68 73.9%	5 5.4%	19 20.7%
(24)痴呆症患者と話をするときますます混乱させるので、こうした患者には話しかけないのが最善である	90 97.8%	- -	2 2.2%
(25)痴呆症患者がうつにならないように、過去を思い起こさせてはならない	85 92.4%	2 2.2%	5 5.4%
(26)老年期妄想病の最大の原因は孤立と難聴である	27 29.3%	26 28.3%	37 42.4%
(27)栄養不足はお年寄りの精神病の原因になる	26 28.3%	20 21.7%	46 50.0%
(28)お年寄りは若い人よりも、不眠、熟睡できない等の睡眠の問題が少ない	77 83.7%	8 8.7%	7 7.6%
(29)お年寄りは、若い人より精神衛生サービスを多く利用している	32 34.8%	13 14.1%	47 51.1%
(30)心理療法は、通常、お年寄りには効果がない	78 84.8%	4 4.3%	10 10.9%